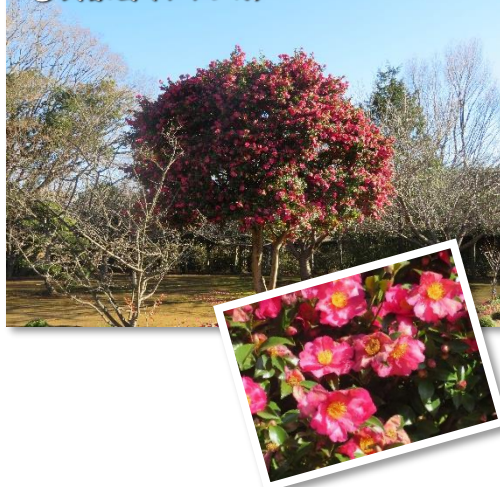


○紅葉も終わり、多くの植物が葉を落とし、本格的な冬の到来です。

① 民家園では、冬でもきれいな花を咲かせて、みなさんの目を楽しませてくれています。

① 民家園 (サザンカ)



冬はどこか寂しい印象になりがちですね。冬の時期は寒い冬を超えようと植物たちが花を散らし、葉っぱを落とすようになります。そんな中でも元気に花を咲かせ、冬でも枯れずにいる木や花があります。『さざんか、さざんか、咲いた道・・・』のフレーズでお馴染みの童謡たき火で歌われている『山茶花 (サザンカ)』です。花の少ない冬の季節の彩としても魅力的な冬の花の代名詞で、江戸時代から生け垣や庭の木として好まれてきたそうです。ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹で、花言葉は『困難に立ち向かう』だそうですよ。

② 積雪地の冬の風物詩が雪華園にお目見えです。

雪華園では、積雪地の街や住宅地の冬の風物詩『冬囲い (雪吊り)』を見ることが出来ます。冬囲いは雪圧から樹木を保護するための囲いです。冬囲いにも種類があり、縄巻き、竹囲い、こも巻き (※先月紹介)、屋根囲いなど色々な方法があるようです。昔から寒い季節に霜や雪氷から植物を守る工夫がされて



松の雪吊り

来ました。こも巻きと雪吊り、ともに冬支度へ変身した松の様子も楽しんで見て下さい。

④ 万葉集にも登場する秋の七草のひとつです。

秋のお散歩のときには、園路の両側を黄金色に見事に飾ってくれた瀬橋 (かわうそばし) 付近の『ススキ』たち、これからの時期は、本格的な冬の到来に向けて、右の写真⇒のように刈り取り作業を行います。地表にでているススキは、冬に枯れてしまいます。風や雪にさらされてしまいますが、地中では来春に向けて着々と準備が進んでいます。きっと春には、また青々とした若葉を見ることが出来ますよ。他の植物もそうですが、季節による移り変わりを観察してみるのも、楽しいですよ！！



ススキ



③ 公園の人気者：中山台の『富士見塚』

中山台は、園内でも子供達に大変人気の高い場所です。その理由は遊具で遊べたり、夏は水遊び、何といっても『富士見塚での芝滑り』冬は外で遊ぶのはと思っているのもったいない。段ボールをもって公園に来て見てはいかがですか。満足してもらえる楽しさですよ！！



○今年も残りわずかとなりました。てくてく情報、次号もお楽しみに！